

上里町公共施設再配置・維持保全計画（案）についてのパブリックコメント

令和2年2月25日（火）～3月25日（水）にパブリックコメントを実施したところ、1名の方から、4項目のご意見等をいただきました。寄せられたご意見等及びそれに対する町の考え方を公表いたします。

（反映状況の区分）

A：意見を反映し、案を修正した

D：意見を反映できなかった

B：既に案で修正済み

E：その他

C：実施段階または次の改訂で参考としていく

項番	提出されたご意見等	町の考え方 (※案の修正がある場合はその内容)	反映 区分
1	<p>公共施設の計画は長期に渡る取り組みになり、このような長期計画は定期的に見直しする必要があります。一方で、今回の再配置・維持保全計画の資料作成は大変な労力が必要だったと思われます。</p> <p>そこで、今後計画の再検討時に必要な指標となる項目（施設の機能や大きさ、維持管理費用、稼働実績、利用者のニーズ、利用動向の変化など）や、その取得方法などをあらかじめ定め、データ取得に大きな労力を要せずに済むようにしておくことが必要と思います。</p> <p>また、利用者アンケートによれば70%の人が「利用する機会や必要がない」と答えています。利用者のニーズを把握することは勿論ですが、ほとんど利用することなく公共施設のコストだけを負担している、いわゆるサイレントマジョリティの意見を取り込む工夫も必要だと思います。</p>	<p>本計画の推進にあたっては、社会経済情勢の変化や施設建物の状態の変化に対応し、その情報を適宜捉えつつ、計画の見直しを行うことが大切になります。そのため、施設建物の定期点検・日常点検を踏まえての各施設の管理者へヒアリングを実施するなど、利用者数・稼働率・利用特性等を含めた施設の現状把握を継続的に行っていくとともに、データベースの時点更新や計画の見直しを行っていきます。情報収集方法については効率的に実施できるよ工夫いたします。</p> <p>また、施設維持管理コストについては、施設利用料を見直すなど、受益者負担の適正化を図り、施設を利用する人と利用しない人との公平性の確保を図る予定です。併せて様々な人の意見収集に努めます。</p>	B、C
2	<p>公共施設計画は大切なことですが、普段なかなか気にすることがありません。そこで、その実態について町民へ啓蒙すれば、それをキッカケにもっと関心を持って</p>	<p>公共施設マネジメントの推進については、施設を利用する人と利用しない人、双方のご理解とご協力が必要であると考えています。広報やホームペー</p>	C

	<p>らえるのではないのでしょうか。例えば、図書館の入り口に次のような掲示をするのはどうでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竣工年月 ○○年○月 ・建築費用 ○○億円（町民一人あたり○○万円） ・維持費用 年間○億円（町民一人あたり○○万円） ・蔵書数 ○○万冊（町民一人あたり○○冊） ・貸出人数 年間のべ○○人 ・貸出図書数 年間のべ○○冊 <p>公民館や体育館などもこれらに準じて費用や効果が分かる指標を掲示し、町民が嫌でも目に入るような形で公共施設の費用と効果を知らせたらよいと思います。ただし、町営住宅については掲示の適否も含めて慎重に検討する必要があると思います。</p> <p>また、これらを近隣自治体と比較できれば町民にとってはさらに分かりやすくなると思います。そのためには、指標項目を統一していくことが望まれます。</p>	<p>ジ、必要に応じて説明会を実施するなど、住民に寄り添った丁寧な説明を行い、一人でも多くの方に町の公共施設マネジメントの取り組みに関心を持っていただきたいと考えています。</p> <p>施設情報の掲示や近隣自治体との指標項目統一などについては、公共施設マネジメントの今後の推進における手法のひとつとして参考にさせていただきます。</p>	
3	<p>上里町を含む児玉郡市と深谷市では、公共施設の相互利用をしています。これは現在保有する公共施設を有効に利用し合うとても良い取り組みだと思います。この方法をさらに推し進めて、将来の公共施設の再配置計画にも反映できないものしょうか。</p> <p>（１）これから人口減少が進む中において、各自治体が独自に自分のエリアだけで公共施設再配置計画を進めると、設備の維持費用や利用頻度面から、特殊な設備が必要で利用者があまり多くないマイナーなものは廃止が検討されてしまうと思いま</p>	<p>公共施設再配置・維持保全計画では、現在町が保有する施設機能の再配置と、既存施設の維持保全にあたっての対策内容・対策時期等を明らかにする計画です。従いまして、現在町が保有しない施設機能や施設建物については本計画とは別に検討していくものとしております。その中で、「公共施設の相互利用の拡充」「民間施設を活用した新たな行政サービスの実施」「公共施設が多機能化」なども含めて随時検討を行っていくわけですが、その内容によっては、本計画の見直しを行う必要もあ</p>	C

<p>す。</p> <p>しかし、これを上里町単独ではなく広域圏で考えることで、残せる可能性が増えると思います。ある自治体では A を残す、別の自治体では B を残すように計画して、これを相互に利用し合うことで、利用者が少なくとも残すことが検討できるようになると期待されます。具体例はあまり思いつきませんが、陶芸作品を焼く電気炉や茶道で使う炉のある茶室などが該当すると思われる。</p> <p>(2) 公共施設の面積が縮小されるばかりでは、夢や希望がなくなってしまいます。先の広域圏での相互利用を推進することで、今よりも夢を持てるようにはできないのでしょうか。例えば、ある自治体の公共施設で従来よりも音響効果のよい部屋を設け、その部屋は近隣自治体も含め音楽器楽の愛好サークルが月に 1 回はその場所を使って練習できるようにする。他の自治体では別の分野で特色の有る設備を設けることにして、これらを近隣自治体間で相互に利用し合うようにすれば、広域の住民に今よりも充実した練習環境を提供できると思います。こうすれば全体の面積が減っても、少しは夢を持つことができるのではないのでしょうか。</p> <p>(3) ワープ上里は、今回の再配置方針で機能回復改修と複合化が計画されています。町の中だけで考えれば適当な計画だと思います。しかし、このうち大ホールのような大型施設については、近隣自治体とも共同利用する設備を 1 箇所を作り、その建設費用や運営費用を分担することで全体として削減できないのでしょうか。イメージとしては本庄上里学校給食センターを共</p>	<p>ると考えています。</p> <p>公共施設マネジメントの今後の推進における手法のひとつとして参考にさせていただきます。</p>	
--	--	--

	<p>同で設置して運営するような形です。今回間に合わないとしても、30年後に予想される建て替え時には近隣自治体も含めた大型施設の広域運営を是非検討していただきたいと思います。</p>		
4	<p>他自治体の例ですが、本庄市にある児玉総合支所（公民館）は無料で利用できますが、利用者が少なく割と空いています。一方、はにぽんプラザは有料にも関わらず、とてもにぎわっています。どうしてこのような実態になっているのかを、調査研究して見ればそこに稼働率向上のヒントがあると思います。</p> <p>計画書案13pにある「七本木地域福祉ミニ交流センター」と「神保原地域福祉ミニ交流センター」が、15pの運営状況や、41pの再配置の方針では消えてしまっていますが、どうしてでしょうか。</p>	<p>「建物状況」等の表における施設情報は、平成29年3月の「上里町公共施設等総合管理計画」策定時のものを再掲しており、この度の「上里町公共施設再配置・維持保全計画」の検討時点に情報を更新すべきところ、修正漏れをしておりました。ご指摘のとおり修正いたしました。</p> <p>【修正内容】</p> <p>計画案13pの施設一覧から「七本木地域福祉ミニ交流センター」「神保原地域福祉ミニ交流センター」を削除しました。</p>	C、A